小学校　第６学年　（学級活動）学習指導案　例

１　題材名　自分にできること

　　　使用教材：『明日に生きる』（小学校高学年用）p.28、29

　　　準備物：ワークシート

２　本時について

（１）ねらい

　　被災地で小学生が自主的に始めた活動について考え、相手の立場に立って助け合うことや、学校や地域の一員として自分の役割を自覚し、協力して活動しようとする態度を養う。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 子どもの活動 | 教師の支援 | 備考 |
| １　『明日に生きる』の資料を読み取り、過去の災害時における避難所での小学生の活動について考える。  災害時にどのような活動ができるかを考えよう。  ２　普段行っている学級の委員会活動を基にして、委員会ごとに話し合い、災害時にどのような活動ができるかを考え、ワークシートにまとめる。  ・物資配布、体操、読み聞かせ  ３　委員会ごとに考えた活動について発表をする。  ４　普段の学校生活で自分たちにできることを考える。  ・みんなのため、困っている人を助ける、小学生にもできることがある等 | ・阪神・淡路大震災の避難所で飲み物を配ったり、小さい子どもたちに向けて紙芝居をしたりした小学生の写真や作文をから、当時の避難所の状況をイメージしやすいようにする。  ・各委員会で普段行っている活動と避難所での活動を結びつけるよう助言し、どのような事ができそうか考えられるようにする。  ・類似する意見をまとめて書くように助言し、自分たちの考えを表現しやすいようにする。  ・各委員会による様々な活動についての発表を聞くことにより、小学生でも災害時にできることが数多くあり、普段の活動が災害時にも役立つことに気づけるようにする。  ・災害時だけでなく、普段の生活の中でも自分の役割を自覚し、協力して活動することが大切であることを考えられるようにする。 | 『明日に生きる』  ワークシート |